



【社会】

<学習内容> 「ごみのゆくえ」「もやした後のくふう」

◆教科書 84～89 ページや地図帳、持っている資料などをもとに、ごみのゆくえについて調べ、取組シートやノートに取り組もう。

ことば(教科書 P87)

(1) せいそう工場では、ごみをどのようにもやしているのかな。下のア～エを順番にならびかえよう。

ア ごみをもやす。

イ ごみピットにごみを入れる。

ウ しゅう集車ごとにごみの重さをはかる。

エ もやしたはいの一部を再利用する。

順番どおりにならべよう。



(2) せいそう工場では、すべて機械を使ってごみをしよりしています。人ではなく、機械を使うことのよさは何かな。

(3) ごみをもやした後のことについて、下の（ ）に言葉を入れよう。

ことば(教科書 P89)

・せいそう工場で出たはいは、しょぶん場にうめられます。はいの一部はエコスラグとなって、（ ）の材料としても利用されます。

・ごみをもやしたときに出る（ ）を利用した大浴場や（ ）などのしせつもあります。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

・燃やせるごみの処理の仕方について学びます。清掃工場では、ごみを燃やして量を減らすだけでなく、その際に出る熱を利用したり灰を再利用したりして環境面に目を向けるとよいです。

【算数】

「※」は学習するときのヒントです。



＜学習内容＞

◆「角」（教科書 67 ページ～68 ページ）

分度器を使って、いろいろな角をかきます。

(1) 分度器を使って、 35° の角をかきます。教科書 67 ページを参考に、四角の中に言葉や数を書き入れましょう。



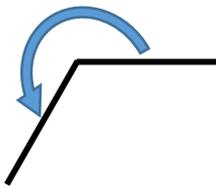
①辺 をかく。

②分度器の を点アに合わせて、 $^\circ$ の線を辺アイに重ねる。

③ $^\circ$ を表すめもりのところに、点ウをうつ。

④点アと点ウを通る をかく。

(2) 分度器を使って、 240° の角をかきましょう。



あれ？ 分度器は 180° までしかないよ。



180° より大きい角度は、どうやってかけばいいのかな？

180° より大きい角度をはかったときのように、工夫すればかけるかな。



(3) 次の2つの考えをもとに、 240° の角のかき方を、言葉や式、図などを使って説明しましょう。

「 180° と、あと何度」で考える	「 360° より、何度小さい」で考える
 <p>※240°は、180°と何度を足せばよいか考えよう。</p>	 <p>※360°より何度小さいと、240°になるかな。式に表してみるといいよ。</p>

(4) 教科書68ページの④・⑤を行い、ノートか取組シートにかきましよう。

(5) 教科書68ページの「直線が交わってできる角度」を読み、いろいろな直線をかいて角度を調べ、ノートか取組シートにかきましよう。



※2本の直線をいろいろな角度で交わらせて調べてみよう。気付いたことがあれば書いておくといいよ。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆角（教科書P67～68）

- ・「 180° と、あと何度」や、「 360° より、何度小さい」などの見方を思い出し、「 240° も工夫すればかけるかも…」と、学びに向かおうとする姿勢を大切にしてください。

※インターネット上にある「まなびリンク『角のかき方』」で、角のかき方を動画で観ることもできます。

（教科書のP4に、QRコード・HPアドレスがついています。）

【理科】

＜学習内容＞

◆「たしかめよう」（教科書 65 ページ）を見て、「雨水の行方と地面のようす」の学習のまとめをしましょう。

①「わかったかな・できたかな」を考えて、取組シートやノートに書きましょう。

※これまでの学習を思い出そう。

※水はどこをどのように流れたかな。

※水たまりができやすい地面はどのようなようすだったかな。

※②の問題は、右と左の実験のようすをよく見てみよう。どこがちがうかな。

②「考えよう」について、取組シートやノートに書きましょう。

※右と左の実験のようすを見て、ちがうところを見つけよう。そして、くらべたいものは何か考えてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- この学習では、これまでの学習を思い出し、雨水の流れ方や水のしみ込み方について考えることを大切にしています。
- 「雨水はどこに流れていったかな。」「水たまりのできないところの地面はどんな様子だったかな。」などと、これまでの学習を思い出しながら考えられるように声をかけてあげてください。また、右と左の実験の様子で違うところはどこかな。」など、何を調べるための実験なのか気付けるように声をかけてあげてください。

【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。道具をつかうときは、かたい物やわれる物はつかわず、安全におこないましょう。

<学習内容>

※参考動画

https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html



◆「バランスをとるうごき」にちょうせんしましょう。

- (1) 紙コップをあたまたの上ののせておとさないように歩いてみましょう。
- (2) あるく速さや回数、しせいなどを変えてチャレンジしてみよう。
- (3) 紙コップを体のいろいろなばしよにのせてチャレンジしてみよう。



<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。